

令和8年1月30日

9:00~10:50

@ホテルオーレ松の間

1. 地域連携推進会議の開催状況について

◇クララ寮（江藤さん）

- ・会議は入所施設と一緒に開催した。議事録は入所施設と分けて作成。施設見学は別日に設けたて再度来て頂いた。
- ・本人、ご家族、民生委員、市役所、社協に参加して頂いた。

◇そびな寮（望月さん）

- ・グループホーム4カ所を一括して開催。
- ・本人、家族の代わりとして後見人、民生委員、市役所、経営に知見のある人として前施設長に参加して頂いた。
- ・パワポで事業所の紹介、会計、事業報告、事業計画の説明をした。

◇天竜厚生会グループホーム（鈴木さん）

- ・開設前には地元説明会を実施したが、開設後にはそういった説明会をしておらず、地域の人に（最低でも自治会長には）事業を知ってもらうために、自治会毎の7拠点で実施した。
- ・本人、ご家族、自治会長、委託相談（または市役所）に参加して頂いた。
- ・見学も同時に行い、施設概要、事業報告の他、リスク、満足度調査の結果を説明し、地域との関わりについて意見交換した。

◇GoodSon（高橋さん）

- ・ホームが富士市、富士宮市に所在しているため、それぞれで開催した。
- ・本人、ご家族、民生委員、市役所に参加して頂いた。
- ・見学も同時に実施。事業説明の他、法人で実施しているおまつり（でら〜とまつり、らぼーとフェスタ）を宣伝した。

◇のぞみの家（鈴木さん）

- ・沼津市内に5カ所あるが、法人本部でまとめて実施した。
- ・本人、ご家族、特別支援学校の教頭、市役所、近隣の特養の施設長に参加して頂いた。
- ・事業の説明、リスクの報告をした。施設見学は5カ所すべて見学した。

◇コミュート浮島（佐野さん）

- ・すべてのグループホーム、入所施設を一括して実施。事業報告の他、虐待案件の報告も行った。その後、19あるホームのうち、本部敷地外にある15ホームについて。グループホームのみで意見交換を行った。
- ・15ホームが概ね4つの事業所にわかれているので、それぞれから本人、ご家族、連合自治会

長に参加して頂いた。

- ・意見交換では虐待事案については参加しないと聞けなかったのかとの質問があったので、地域連携推進会議の議事録はホームページで公表するので、それで知って頂くこともできることを説明した。虐待について驚いた。早く知りたかった。地震が心配なので対策をしてほしいとの率直な指摘もあった。家族会がないため、今回ご家族と交流をもててよかった。
- ・家族代表になってくれる人がなかなかいなかった。また、身よりがいい人もいない。

◇やしま（杉田さん）

- ・今後開催予定。
- ・R2に開設したが、自治会との関わりが少なかったため、自治会長に参加して頂く予定。その他、自立支援連絡会の事務局にも参加して頂く予定である。

◇アフターケアセンターくさぶえ（大塚さん）

- ・2月28日に開催予定。
- ・菊川市、掛川市、御前崎市にあるので、地区毎に開催する予定であったが、今回初めて実施する会議なので全体で会議をする予定。施設見学は各地区で実施予定。
- ・民生委員、自治会長に参加を依頼した。

## 2. 今年度事業の振り返りについて

### ①研修会（食事と余暇）

《施設長以外の参加者の意見》

- ・生活支援員が参加した。今までは食事提供の際、特別な対応をしていなかったが、他の事業所での工夫を知れて参考になった。グループワークで意見交換できたことは有意義であった。
- ・世話人が参加した。他施設の状況を知れて、今は高齢者向けメニューの提供ができないか検討している。ただ、単価があがることと、本人の食べたいもの、食べられるものが異なっているため、整合性を図っている状況である。
- ・グループワークで同じような課題を共有できて有意義であった。
- ・サビ管が参加した。グループホームの会議に参加して、意見交換できたのはとても参考になり、自分たちの支援の振り返りができてよかったとの感想があった。

《次年度に向けて》

- ・来年度のテーマを考えて、5月の合同会議の際に提供していただけるとありがたい。
- ・例年シズウエルで開催しているが、他事業所のことを現場の職員が知れる機会なので、現実的に実施できるかは別として、どこかの事業所で開催して、その事業所のホームを見学することができれば、さらに有意義になるのではないかと。

### ②ふれあい交歓会（バス旅行）

- ・アンケート結果は概ね良かったとの結果であったが、行程が長かったため疲れたとの意見もあった。バスの中でカラオケをしたかったが、カラオケがなかったため、残念であった。移動に時間がかかったこともあり、他施設のご利用者との交流の機会が少なかった。
- ・来年度についても予算確保をして頂いているので、せっかくなのでそれを活用して、ご利用者の仕事への活力になるようなものを実施したい。今度は逆に東から西へ行きたいと考えてい

る。5月の合同会議の際にはカタチを作りたいと考えている。

- ・ご利用者にどんなことをしたいのかアンケートを実施してもいいのではないかな。

### ③世話人ジョブセミナー、体験事業

- ・体験事業は現時点では0件である。
- ・セミナーは11月に3か所で実施した。
- ・GoodSon 参加者は5~6名、採用に繋がったのは1名（法人内他事業所の生活介護）。施設見学をしたときに重心の人が多いためびっくりする人が多かったが、ご利用者のことを知ってもらえたのがよかった。
- ・くさぶえ 事前申し込みほとんどなかったが、ハローワーク経由で1名、チラシで数名、近隣のグループホーム職員が見学として3名の計6~7名の参加があった。施設見学をして頂いて1名の応募があったが、その人についてはお断りして、採用にはつながらなかった。採用目的ではあるが、啓発や他事業所の職員と交流することができて意義はあった。県の上原さん、県知協の増田局長の参加もあって驚いた。
- ・来年度も実施予定である。実施する場所も選ばないといけないが、ある程度エリア毎で持ち回りで実施しないといけないと感じた。
- ・体験事業はセミナー参加者とは関係なく実施が可能である。通期の職員採用前の体験に使ってもらってもよい。

## 3. その他

### ①福浜会 高橋さん

- ・現在は磐田市内に4か所あるが、4月から重度の方の住まいの場として2棟開設予定。建物や入居予定者は順調に進んでいるが、人の確保がなかなか難しい。
- ・個人の日用品の買い物は、ご家族に用意して頂いている。ちょっとしたものは生活介護の事業所で用意してもらったり、ライフサポート事業を活用したりしているが、皆さんの事業所での買い物の仕方や買い物代行の方法を伺いたい。
- 法人内のヘルパー事業所を活用して、移動支援で買い物や食事に行っている。月に1~2回は出かけている。
- 世話人が日用品であれば買い物代行している。
- 一緒に買い物に行った方がいい人で、世話人の業務時間の中で対応できれば世話人が、それ以外はセンター付きのサビ管が実施している。休日の昼食についても、自分で選びたい人は休日対応の職員が対応しているが、選ばなくてもいい人は、弁当の注文をとって、各ホームに配達している。
- 生活支援が必要な人が多く、本人も保護者に自分で訴えているので家族が対応している。事業所として買い物訓練目的で、みんなを連れて買い物する機会を作っている。
- 通院・買い物同行は正規職員が対応している。
- 職員がメモを書いて、そのメモを持ってご利用者が買い物に行くケースがある。業務も煩雑なのでできる限りのサポートをしているが最低限の部分しかできていない。
- ・在宅と同じような楽しみを維持したいと考えているが、地域のサービス提供が足りていない部分もありどんな工夫ができるのか今後も考えたい。

②BCP（感染症）の訓練はどんなことをしているのか。

- ・ガウンテクテクニック、手洗いチェッカー、ゾーンの区分け訓練
- ・法人全体で訓練を実施、動画研修も活用している。
- ・毎月の世話人連絡会で注意喚起をしている。
- ・看護師から助言をいただいている。

③地域の要配慮救助者に登録しているか。地域防災、防災訓練について

- ・くさぶえでは登録している。関係が密な自治会では地域防災訓練でご利用者を自治会の方が避難誘導してくれるところもある。
- ・地域防災は参加できる人は極力参加している。
- ・高齢化もありコロナ禍以降、町内会の地域防災訓練がなくなったところがある。
- ・日中通所している人は通所先で総合防災に参加している。グループホームでは地域防災訓練に参加している。

④地域とのつながりの工夫は

- ・地域のおまつりがなくなったので、事業所で独自におまつりを実施して、地域の人に参加してもらっている。

⑤遠出の外出の支援は

- ・自由にいける人は自由に外出している。支援が必要な人はなかなか難しい。事業所の旅行として企画している。
- ・懇意にしている旅行会社が1日3万円で添乗してくれているので、費用は高額ではあるが、それを利用している人もいる。
- ・沼津市は移動支援の支給が厳しいので、事業所職員が同行している。同行する職員はボランティアで対応している。